

令和5年 第3回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (18人、56項目)	備考
1	池田 英司	<ul style="list-style-type: none"> 1 多7・5・3号宿榎戸線について 2 多3・4・12号読売ランド線について 3 海外姉妹都市フォスターシティ市との市民交流について 4 スポーツで活躍するアスリートへの応援について 	
2	山岸 太一	<ul style="list-style-type: none"> 1 高齢者と暮らしを支える介護保険制度に向けて 2 南山東部土地区画整理事業の事業計画変更(第9回)について 3 バス停へのベンチ設置について 	
3	坂田たけふみ	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市における不登校児童生徒の状況について 2 狭隘な区域における火災時の消火活動について 	
4	つ の じ 寛 美	<ul style="list-style-type: none"> 1 マイナンバーカード事業について 2 新庁舎建設について 3 若葉台地域の諸課題について 4 子ども読書活動推進について 	
5	村 上 洋 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 水道水以外の地下水におけるPFASの調査について 2 稲城市の小児の休日・夜間診療について 3 「稲城市学校給食アンケート」の結果と今後の取り組みについて 	
6	角 田 政 信	<ul style="list-style-type: none"> 1 大規模地震や風水害への備えについて 	
7	中 島 健 介	<ul style="list-style-type: none"> 1 自治会とのかかわりについて 2 市の情報発信について 	
8	佐 藤 しんじ	<ul style="list-style-type: none"> 1 通常学級における特別な支援と特別支援教育等、教育環境の更なる充実について 2 公園トイレの洋式化等について 3 稲城市の自然環境や景観を活かした観光事業の取り組みについて 	
9	川 村 あ や	<ul style="list-style-type: none"> 1 「市民ひとりスポーツ」実現に向けたスポーツ振興の在り方について 2 「森林環境譲与税」の使い方について 3 稲城市シルバー人材センターとインボイス制度について 	
10	岡 田 ま な ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 1 補聴器購入補助など加齢性難聴の聞こえの支援について 2 統一協会の反社会的活動から市民を守る取り組みについて 3 学校給食費の無償化について 4 道路や歩道の薄れてきた白線を引き直すなどの市の対応について 	
11	梶 浦 み さ こ	<ul style="list-style-type: none"> 1 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」被害防止対策の強化について 2 駒沢女子大学・駒沢女子短期大学等「駒澤学園」の公民連携のさらなる促進・強化について 3 稲城なしのすけナンバープレート(稲城市原動機付自転車標識)の希望番号制について 	
12	土 居 の り ひ ろ	<ul style="list-style-type: none"> 1 東京ジャイアンツタウン構想との連携について 2 LGBT理解増進法について 3 人権教育指導について 4 新型コロナワクチン接種後の対応について 	

13	岩佐 ゆきひろ	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症について 2 市民プールの運営状況について 3 小中学校のLED照明について 4 合同清掃について 5 長寿について 	
14	湯谷 ひろし	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケア児(者)の更なる状況把握と災害時等に備えるためのマニュアル作成について 2 市内体育施設の予約におけるトラブル解消を目指して 3 向陽台公園通りの歩道における根上がり等の対策について 	
15	武田 まさひと	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域BWAを利用したWi-Fiの運用について 2 電車とホームの隙間が広く開いている京王相模原線稲城駅の安全性について 	
16	田島 きく子	<ol style="list-style-type: none"> 1 マイナンバーカードの強制をやめて、マイナンバー制度を見直すことについて 2 地球温暖化対策としての建物の断熱性能向上について 3 学校のトイレへの生理用品設置について 	
17	いそむらあきこ	<ol style="list-style-type: none"> 1 誰もが暮らしやすいまち 障がい児(者)支援について 2 育児休業中の保育短時間制度について 3 子どもの健康・安全を優先とする小中学校の水泳指導について 4 道路上にはみ出した樹木の枝等の適切な管理について 	
18	鈴木 誠	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災に関する稲城市の取り組みについて 2 市における見積りと入札、発注について 3 平尾地区の抱える諸課題(交通、防犯、商業)について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新 政 会	池田 英司

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>多7・5・3号宿榎戸線について</p> <p>多7・5・3号宿榎戸線の整備スケジュールについては、令和4年第四回定例会において、角田議員が一般質問され、令和8年の完了を目指しているとは伺っておりますが、改めて整備スケジュール等について伺います。</p> <p>(1) 川崎街道から旧鶴川街道の区間について</p> <p>①現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケジュールについて伺います。</p> <p>②新設される多7・5・3号宿榎戸線と、川崎街道、旧鶴川街道との信号機処理による交差点形状等について伺います。</p> <p>(2) 榎戸土地区画整理事業区域内について</p> <p>①現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケジュールについて伺います。</p> <p>②宿榎戸線は、稲城第一小学校の通学路としても使用され、小学生なども横断しなければならないことから、横断歩道や信号機の設置が必要であると考えます。</p> <p>横断歩道や信号機の設置などの安全対策について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="294 248 1219 734"> 多3・4・12号読売ランド線について 多3・4・12号読売ランド線につきましては、 現在、工事を施工されているほか、今般、 新GIANTS球場の起工式も行われ南山東部土地区 画確認されて整理事業のまちづくりも目に見え て進められきております。 そこで、改めて進捗状況や今後のスケジュール について伺います。 </p> <p data-bbox="294 815 1232 920"> （1）現在の進捗状況と今後の具体的な整備スケ ジュールについて伺います。 </p> <p data-bbox="294 1001 1193 1106"> （2）多7・4・5号線との接続時期について 伺います。 </p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="294 253 1196 360">海外姉妹都市フォスターシティ市との市民交流 について</p> <p data-bbox="294 376 1235 801">7月15日から7日間という長期間においてフォス ターシティ市から多くの子どもたちや保護者な どが来訪され、稲城市民を中心に多くの方々と交 流でき、相互にとってとても良い経験になったと 思われます。海外にも本市の姉妹都市ができたこ との成果となりとてもよかったと感じておりま す。</p> <p data-bbox="294 817 1235 925">そこで、今回のフォスターシティ市との交流につ いて伺います。</p> <p data-bbox="294 1010 1235 1301">(1) 今回の市民交流にあたっては、稲城市姉妹 友好都市交流協会が中心となって、様々な市民や 市民団体の代表者などが多くの時間をかけて取 り組まれたことと思いますが、その経過と市とし ての対応について伺います。</p> <p data-bbox="294 1386 1235 1494">(2) 今回の市民交流について、市としてどのよ うに評価しているのか伺います。</p> <p data-bbox="294 1579 1235 1686">(3) 今後の交流に向けての課題について伺いま す。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>スポーツで活躍するアスリートへの応援について</p> <p>本市は、「市民ひとり1スポーツ」を目標に掲げ、全ての市民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しめる機会や、プロスポーツ等の魅力に触れ、スポーツに興味を持ってもらう機会の充実等に取り組んでおります。</p> <p>これらの取り組みの成果として、今、様々な競技で、東京都内の大会だけでなく、全国レベル、世界レベルで活躍する市民が多くなっています。</p> <p>これまで、スポーツで活躍するアスリートへの応援として、もっと市としてPRしていくことをお願いしてきました。</p> <p>そうした中、8月1日号の広報いなぎの1面において、「わがまち稲城2023 スポーツで活躍するアスリートたち」について紹介されております。スポーツに取り組み、結果を残してきた市民アスリートたちにとって、今後のさらなる飛躍のための努力に繋がり、市民にとってもシビックプライドの醸成に繋がるものであると考えます。</p> <p>そこで、今後も積極的にこのような取り組みを継続して行っていただきたいと考え質問いたします。</p> <p>(1) 今後もこのように「スポーツで活躍するアスリートたち」を市広報で紹介してほしいと考えますが、市の考えを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>高齢者と暮らしを支える介護保険制度に向けて 次期の介護保険事業計画の策定に向けた検討が進んでいます。一方で物価高騰を受けて高齢者の暮らしはますます厳しくなっています。安心して暮らしていける住まいの支援と保険料の負担軽減を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 住まいの支援について</p> <p>①市内の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の整備状況と今後の計画について聞きます。</p> <p>②市内のグループホーム、特別養護老人ホームの整備状況と今後の計画について聞きます。</p> <p>③国の「住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業」の概要について聞きます。</p> <p>(2) 介護保険料と準備基金について</p> <p>①介護保険制度開始から現在までの基準保険料額（月額）の推移について聞きます。</p> <p>②直近5年間の準備基金の推移を聞きます。</p> <p>③次期の介護保険事業計画の策定にあたっては、保険料の値上げは行うべきでないと考えますが、認識を聞きます。</p>	
2	<p>南山東部土地区画整理事業の事業計画変更（第9回）について</p> <p>南山東部土地区画整理事業の9回目となる事業計画の変更が明らかになりました。令和元年第2回定例会一般質問において「現時点では今後大きく変更となる要素はない」と市長答弁がされていますが、その時点からも100億円以上の事業費増となっています。</p> <p>際限ない事業費の増加による、さらなる市税投入に反対する立場から質問します。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1) 南山東部土地区画整理事業の現状について</p> <p>① 事業の進捗率について聞きます。</p> <p>② 9回目の事業計画変更の理由について聞きます。</p> <p>(2) 土地利用計画について</p> <p>① 公共用地について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>② 宅地と保留地について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>(3) 支出について</p> <p>① 公共施設整備費「築造」部分について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>② 整地費について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>③ 支出全体について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>(4) 収入について</p> <p>① 国・都・市補助金について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>② 保留地処分金について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>③ 上記①②以外のその他について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>④ 収入全体について、当初計画と第9回事業計画変更の違いについて聞きます。</p> <p>(5) 今後の見通しについて</p> <p>① 「工事費」が増加し続けていることについて認識を聞きます。</p> <p>② 南山東部土地区画整理事業への、これ以上の税金投入は行うべきではないと考えますが認識を聞きます。</p>	<p>市長答弁を 求める</p>

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>バス停へのベンチ設置について 安心してバスを利用するために、バス停へのベンチ設置を要望する声が市民から寄せられています。積極的にベンチの設置を求める立場から質問します。</p> <p>(1) バス停へのベンチ設置に関する考え方について聞きます。</p> <p>(2) 坂浜地域「ソコラ若葉台」バス停へのベンチ設置を求める声があります。これまで住民から出された声と市の対応、ベンチ設置の今後の見通しについて聞きます。</p>	

項目 番号		摘 要
	<p>(2) 不登校児童生徒への対応について</p> <p>「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、小中学生の不登校の要因は、無気力・不安が49.7%、生活リズムの乱れ、あそび、非行が11.7%、いじめを除く友人関係をめぐる問題が9.7%、親子の関わり方が8.0%、学業の不振が5.2%であり、全体の84.3%を占めています。</p> <p>国に調査結果を上げる前に、市としてのデータを収集していると思うが、それらのデータをどの様に分析し、不登校問題に生かしているのか伺います。</p>	
2	<p>狭隘な区域における火災時の消火活動について</p> <p>令和5年7月23日(日)に発生した、百村地区の山林火災では、消防職員の皆様の迅速な消火活動により、大きな被害はなく、火は消し止められました。しかしながら、市内には消防車が入る事ができない狭隘な地域も多くあり、万が一火災が発生した際には、一刻も早い消火活動が求められます。</p> <p>(1) 消防車が入れない狭隘道路での消火活動について伺います。</p> <p>(2) 消火栓の点検について伺います。</p> <p>① 市内の消火栓の数について</p> <p>② 消火栓の点検の内容と頻度について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>マイナンバーカード事業について</p> <p>公明党デジタル社会推進本部は、マイナンバーカードを巡るトラブルを受けた総点検の中間報告を踏まえた対応について政府側から説明を聴取し、再発防止を強く要望しました。</p> <p>(1) 令和5年9月末の申込締切が迫っていますが、マイナポイント事業の目的を伺います。</p> <p>(2) マイナポイント事業の成果について伺います。</p> <p>(3) マイナポイント事業により普及促進が進んだマイナンバーカードですが、「紐づけ誤り」などの課題がありますが、市の認識を伺います。</p> <p>(4) マイナトラブルの総点検における市の認識について伺います。</p> <p>(5) マイナンバーカードと保険証との紐付け及び今後の取り組みについて伺います。</p>	
2	<p>新庁舎建設について</p> <p>庁舎建設の財源として基金積立金を積立しているものと認識しています。近隣市の中では、新庁舎の建設が進められているところもあります。</p> <p>先日、公明党稲城市議団として栃木県小山市と、茨城県下妻市の新庁舎の視察に伺いました。市の考え方を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>若葉台地域の諸課題について</p> <p>(1) コープ若葉台店の跡地にロピア若葉台店が今年秋にオープンするとのネット情報です。これには、お店が出来ることを大変嬉しく思う方が多数います。その一方で、若葉台丘の手に住む方々からは、若葉台小学校西の信号機を右折して尾根幹線方面に向かう車両は、土・日曜日にも渋滞が酷く右折車線で、1回で1台も行かれない事がしばしばあるそうです。新しくオープンとなれば他市からも車で来られて渋滞することは予想されますので、渋滞の緩和を望む声を多数いただきます。丘の手地域でリターンする車もいるそうです。また、安全対策として、市としての考え方を伺います。</p> <p>(2) 若葉台小学校南の信号前にあるセブンイレブンで出入りする車が危なく感じる声をよく伺い、安全対策のご要望を頂きます。市の見解を伺います。</p> <p>(3) 車の利用が多い、若葉台西櫛の木通り、若葉台中央通り、若葉台駅前坂通り等、穴が開いたり、波打ったり等車道の路面状況が悪くなっています。今後の取り組みについて伺います。</p>	
4	<p>子ども読書活動推進について</p> <p>政府が21年度、図書購入費として220億円の地方交付税交付金を措置したにもかかわらず、全国の自治体において図書購入に使われたのは、</p>	

通告番号	会派名	氏名
5	無所属	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	水道水以外の地下水における PFAS の調査について	
	<p>有機フッ素化合物 (PFAS) については、人の健康の保護の観点から、その目標値や基準に関し国際的にも様々な化学的な議論が行われ、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 (POPs 条約) においても、規制対象物質とされています。</p> <p>国においても環境省及び都道府県等が実施した調査では、河川・地下水等の水環境で PFOS 及び PFOA の暫定目標値 (50ng/L: ナノグラム/リットル) を超過する事例が確認されています。</p> <p>現在、暫定目標値を超過した水道水の水源井戸については汲み上げ停止となっておりますが、東京都では水道水の水源井戸以外でも、PFAS について、地下水の水質調査を行うとのことでした。</p> <p>東京都が実施する地下水の水質調査について伺います。</p> <p>(1) 調査の目的について伺います。</p> <p>(2) 東京都内の地下水の水質調査の実施方法と測定項目について伺います。</p> <p>(3) 市内の地下水の水質調査の測定箇所の選定方法や実施時期について伺います。</p> <p>(4) 測定結果の公表について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	稲城市の小児の休日・夜間診療について	
	<p>2023 年の夏は、新型コロナウイルス感染症の流行も「第 9 波」ではないかと言われるほど広がり、子どもの他の感染症も多く流行したことが報道されました。</p> <p>子どもの発熱などは、休日・夜間に発生することも多く、市内の小児の休日・夜間の診療については安心して対応が望まれることから、現在の市の状況について伺います。</p> <p>(1) 2022 年と 2023 年の 6, 7, 8 月の小児救急の出場件数について伺います。(消防)</p> <p>(2) 市内小児科医院による往診の状況について伺います。</p> <p>(3) 母子健康手帳交付時や乳児家庭全戸訪問時に小児の休日・夜間診療などに関する情報提供を行っているかについて伺います。</p> <p>(4) 小児の受診に関する情報提供について、今後の取り組みを伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p>「稲城市学校給食アンケート」の結果と今後の取り組みについて</p>	
	<p>稲城市教育委員会では、令和 5 年 1 月に「稲城市学校給食アンケート」を実施し、3 月に報告書を公表しています。</p> <p>日々、子どもたちの健やかな成長と「笑顔を」思い浮かべながら給食を提供してくださる関係者の皆様に感謝しつつ、アンケートから読み取れる課題と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) アンケートの目的について伺います。</p> <p>(2) アンケートから見えてきた成果と課題について伺います。</p> <p>① 「おいしい」が増え、「おいしくない」が減った理由や、「おいしくない」「見た目がよくない」という回答への課題について伺います。</p> <p>② 給食の量についての考え方を伺います。</p> <p>③ 食べ残しに対する課題について伺います。</p> <p>④ 食育について成果と課題を伺います。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
7	稲志会	中島 健介
項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>自治会とのかかわりについて</p> <p>新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されてから2か月が過ぎ、4年ぶりに夏のにぎわいが戻り、今年の盆踊りは大盛況で多くの市民、特に子どもたちの笑顔が溢れる素晴らしいお祭りであったと思います。</p> <p>この場をお借りいたしまして、お祭りの開催に携わっていただきました自治会や各種団体の皆様に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>改めて、地域の皆様のお力添えによって地域の絆を深め、コミュニティの形成に大きな貢献をして頂いていることを実感いたしましたし、こうした団体との連携の必要性を再認識いたしました。</p> <p>特に自治会は、生活上の諸問題や身近な環境の整備・管理、清掃・美化、防災・防犯などの活動を通して、地域コミュニティの形成と真に住みよいまちづくりに大きく貢献をしてくださっています。</p> <p>一方で、新住民の方々の自治会への未加入率の増加と会員の高齢化に伴う退会者の増加によって、その担い手不足が大きな問題となっています。また、少子高齢化の影響を受け、さらにこの問題は深刻になっていくことが予測をされます。</p> <p>こうした状況を打破すべく、各自治会長を中心に、広報活動や新しい住民も参加しやすい行事の開催を企画するなど新規会員の獲得に向けた取り組みも進めていらっしゃると思います。</p> <p>自治会の貢献は、その地域だけでなく稲城市全体にとっても大切なものであると考えています。</p> <p>だからこそ、自治会の存続のための支援を稲城市も積極的にしていく必要があると思います。</p> <p>そこで、改めて稲城市の自治会に対するお考えや現在における自治会との連携についてお伺いをして、今後行政として自治会に対してできる支援について質問します。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(1) 稲城市の自治会に対する見解と必要性について	
	(2) 自治会の加入率の推移について	
	(3) 現在、稲城市と自治会で連携している事柄や市が自治会に協力を要請している事柄について	
	(4) 自治会組織が無くなってしまった場合の稲城市に与える影響について	
	(5) 現状における稲城市の行っている自治会への加入促進の取り組みについて	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>市の情報発信について</p> <p>自治体が地域住民に向けて発信する情報は、行政施策の情報や、社会生活に必要な情報、災害情報などの生命に関わる情報から財産に関わる情報など、多岐にわたります。</p> <p>どのような情報であっても、対象となる住民に確実に、そしてわかりやすく伝えることが重要であり、これらの情報発信が、行政サービスの周知や利用促進、必要な手続きの遂行、必要な行動などを促すきっかけとなります。</p> <p>情報の送り手である行政に目を向けますと、時代の変化や技術革新などを通じて、従来の紙やメールによる情報発信以外にも、SNS やアプリを活用して情報発信をしている自治体も増えてきました。</p> <p>一方で、情報の受け手である市民に目を向けますと、介護や育児など肉体的にも精神的にも大きな疲労を抱えていらっしゃる方々やバブル崩壊後、平均年収の減少の影響や昨今の女性の社会進出により、共働き世帯が増えている現状において、ゆっくりと広報を読み、自身が受けることのできる制度を発見し、制度自体を理解することが困難な方々もいらっしゃいます。</p> <p>また、公益社団法人日本広報協会の調査によりますと30歳代から50歳代の方は、8割以上の方が広報紙を読むと回答し、60歳代以上は9割以上の方が広報紙を読むと回答した一方で、10歳代・20歳代の若い世代は広報紙を読む割合が6割代であるという結果が発表されました。</p> <p>こうした状況を鑑みますと従来の紙やメールによる広報活動から情報を得ている方々が大勢いる一方で、他の世代よりも若い世代には情報が届いていない可能性が高いのではないかと考えています。</p> <p>そこで、現状の稲城市の情報発信の方法、その効果や新しい発信方法について質問します。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(1) 稲城市の情報発信の現状について	
	①稲城市の情報発信に対する見解は	
	②稲城市は市民に向けて情報をどのような方法で発信されているのか。	
	③発信される情報の選定方法はどのように決められているか。	
	(2) 情報発信の効果について	
	現状の情報発信に対する市民の反応の効果測定について、特に世代別読者率とその傾向などについて	
	(3) 新しい情報発信の方法について	
	①広報紙をしっかりと読む若い方が少ない現状について市の見解は	
	②デザインの刷新など特に若い方に手に取ってもらえるような広報への取り組みについて	
	③地域を知り、理解してもらえるように市内の事業所や農家のインタビューや神社仏閣の歴史や自治会の活動などの特集を組むなど広報の紙面を増やして読み応えのある記事の追加について	
	④プッシュ型情報発信についての市の見解は	

通告番号	会派名	氏名
8	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>通常学級における特別な支援と特別支援教育等、教育環境の更なる充実について</p> <p>文部科学省は、通常の学級に在籍する児童生徒の実態と支援状況を把握するため、「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」を令和4年に実施しました。対象地域や一部質問項目等が異なるため単純比較はできないものの、今回の調査結果と平成24年に行った調査結果とを比べて、学習面または行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合が増加している事が、本年7月公表の、令和4年度文部科学白書に記されています。このような情勢の推移に伴い、特別支援教育等についてのご相談が私にも実際増えてきています。この状況を鑑みて、通常学級における特別な支援と特別支援教育の更なる充実を求めます。また、インクルーシブ教育の必要性の高まりも感じているところであります。</p> <p>(1)通常学級における特別な支援について ①現状について伺います。 ②今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2)自閉症・情緒障害特別支援学級について ①文部科学省、東京都の動向について伺います。 ②東京26市の設置状況について伺います。 ③稲城市における調査・研究・検討等の進捗状況について伺います。</p> <p>(3)インクルーシブ教育について ①文部科学省、東京都の動向について伺います。 ②稲城市としての考え方について伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>公園トイレの洋式化等について</p> <p>稲城市は水と緑に彩られた自然豊かな街であり、また、市外に住む友人、知人からは、稲城市は街並みがきれいだね、といった声もよく聞きます。区画整理の進展や、市内一斉清掃、各地域における自治会や任意団体による清掃活動といった市民の皆様のお力によるところも大きいと思います。自然豊かで街並みが綺麗な稲城市のこの魅力を更に高める為に様々な取り組みがあると思いますが、トイレを清潔に保つことや、洋式化を進めることも重要な取り組みであると考えます。安心して気持ちよく利用できるトイレは、稲城市民の皆様にとりましても、市外から訪れる方々にとりましても、当然のことではあります、大きな利点であり、喜びであります。</p> <p>(1)トイレを清潔に保つための清掃等の取り組みについて伺います。</p> <p>(2)洋式化の取り組みについて ①現状について伺います。 ②今後の取り組みについて伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>稲城市の自然環境や景観を活かした観光事業の取り組みについて</p> <p>稲城市の観光事業は、第二次稲城市観光基本計画に則り、稲城市観光協会との協働・連携により、着実に進展しているものと認識しています。中でも、稲城市の自然環境や景観を活かした取り組みは、自然環境の保全とともに、今後も、環境教育や食育等としてのエコツーリズムにつながると考え、大いに期待いたします。</p> <p>(1) 第二次稲城市観光基本計画に記載の「里山・ノスタルジー」の「里山」について</p> <p>①「里山」を活かした観光事業の現状の取り組みについて伺います。</p> <p>②「里山」を活かした観光事業の今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 自然環境や景観を活かした稲城市サイクリングマップ「稲城ぼたり日和」について</p> <p>① 「稲城ぼたり日和」のサイクリングマップのコース設定と、その活用について伺います。</p> <p>②サイクリングマップのターゲット利用者の設定と、その理由について、市の見解を伺います。</p> <p>③サイクリングマップの配架等、周知について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
9	稲志会	川村あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	「市民ひとりスポーツ」実現に向けたスポーツ振興の在り方について	
	<p>稲城市のキャッチフレーズに「市民ひとりスポーツ」があります。</p> <p>人が健康であるためには栄養・睡眠・運動が大切です。そのどれもが健康に欠かせないものであり、更に生きがい加わることでよりバランスの取れた健康状態へとつながります。</p> <p>今回は、その中でも「運動」について市の考えを伺います。</p>	
	<p>(1)運動習慣について</p> <p>① 幼少期からの運動習慣について、どのような点に着目し考えているのかについて</p> <p>② 成人のスポーツ実施率について、どのような点に着目し考えているのかについて</p>	
	<p>(2)スポーツ環境について</p> <p>①スポーツ施設の全国的な傾向と稲城市の現状について</p> <p>②課題について</p> <p>③今後について</p>	
	<p>(3)学校開放について</p> <p>①現在の活用状況について</p> <p>②予約管理について</p> <p>③今後について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	「森林環境譲与税」の使い方について	
	<p>森林環境税は、令和6年度より開始され、1人年額1000円を自治体に納付するものです。</p> <p>納められた税金は、国によって森林環境譲与税として各地域に譲与され、森林整備や林業に関わる人材の育成等に使用されます。</p> <p>本市では、既に平成31年度より譲与されています。</p> <p>これまでの用途および今後の使い方について伺います。</p>	
	<p>(1) 現状の用途について</p> <p>① 森林整備について</p> <p>② その他について</p>	
	<p>(2) 今後の用途について</p> <p>① 森林整備について</p> <p>② その他について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	稲城市シルバー人材センターとインボイス制度 について	
	市内では多くのシルバー世代の方が活躍され、会員数・売上高ともに良好な運営状況と伺っています。今後の、超高齢化社会に向けて更なるシルバー世代の活躍を期待することから、新たに10月から始まるインボイス制度への対応を含めて質問させていただきます。	
	(1) 稲城市シルバー人材センターの運営状況について ① 会員数について ② 売上高について	
	(2) 新事業および就業開拓について ① 現状について ② 今後について	
	(3) インボイス制度導入について	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>補聴器購入補助など加齢性難聴の聞こえの支援について</p> <p>難聴になると、家庭の中でも社会的にも孤立しやすく、会話の機会も減り、ひきこもりになりがちになる。65歳以上の2人に1人が難聴で、生活の質の低下につながるという実態や難聴が認知症のリスクの要因であると指摘されている。</p> <p>加齢性難聴への聞こえの支援は、高齢化社会のもと、生活の質を保つうえで重要である。</p> <p>この視点から質問する。</p> <p>(1) 加齢性難聴への聞こえの支援は、生活の質を保つうえで重要であると考えが認識は。</p> <p>(2) 専門的知見を持った、補聴器相談医や認定補聴器技能者に、市民がアクセスしやすいように支援することについて。</p> <p>(3) 補聴器の購入費の医療費控除の周知について。</p> <p>(4) 市民から、難聴など高齢期の聞こえの支援等について、学習会や講演会実施を求める声が寄せられている。市として取り組むべきと考えるが認識は。</p> <p>(5) 補聴器の普及を進める上で金額が高いことが一番の課題となっている。補聴器の購入補助制度を実施する自治体が増えている。稲城市でも加齢性難聴を対象にした補聴器購入助成を実施すべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>統一協会の反社会的活動から市民を守る取り組みについて</p> <p>高額献金、家庭崩壊、宗教二世の苦しみなど、統一協会（世界平和統一家庭連合・旧統一教会）が多くの人の人生を狂わせてきた。国は質問権を繰り返し行使しているが、これ以上、統一協会の解散を先延ばしにすることは許されない。</p> <p>こうした中、統一協会の多摩地域への進出について、市民から不安の声があがっている。</p> <p>統一協会の反社会的活動から市民を守る取り組みを求め質問する。</p> <p>(1) 統一協会が多摩市に購入した土地では7月から工事に着工している。統一協会が多摩市や府中市で土地や建物を購入している状況の把握について、2023年6月の第2回定例会で山岸議員が質問しているが、その後の状況把握、認識について。</p> <p>(2) 統一協会が多摩市に購入した土地は、目の前には都立永山高校、隣には国土館大学があり、付近には住宅が広がっている。稲城からも近い場所であり、稲城に暮らす高校生や大学生も通っており大変心配されている。こうした中で、違法、不法行為を繰り返す統一協会の進出に対して、市民を守るため、稲城市としての対策が求められるが認識は。</p> <p>(3) 東京都市長会は7月に東京都に「宗教法人世界平和統一家庭連合」に関する緊急要望を提出した。多摩市、府中市をはじめ、近隣自治体や東京都と連携し、市民を守る取り組みを行っていくべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(4) 政治家、行政は統一協会との関係を一切断つことが求められる。そのためにも、統一協会は違法、不法行為を繰り返している集団であり、今も深刻な被害が続いているという認識を明確にすることが重要と考える。市の認識は。</p> <p>学校給食費の無償化について</p> <p>全国で小中学校の給食費を無償にする自治体が増え続けている。</p> <p>学校給食は学校教育活動の一環であり、食育としても重要であるが、食材費を保護者負担としている限り、負担を抑えれば質を保てない、質を上げれば負担が増す。</p> <p>物価高騰で暮らしの厳しさが増すもとで、子育て世代の負担を軽減しながら、子どもたちが、安心して質の高い給食を食べられる、給食費無償化の重要性が高まっている。</p> <p>義務教育は無償、食育推進、子育て支援の視点から、学校給食費の無償化を求めて質問する。</p> <p>(1) 学校給食の実施状況および学校給食の役割は。</p> <p>(2) 学校教育活動の一環としての食育の重要性の認識は。</p> <p>(3) 小中学校の給食費を無償にする自治体が広がっていることについてどう認識しているか。</p> <p>(4) 隣の府中市は10月から学校給食費を無償化する。稲城でも学校給食費を無償化すべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>(5) 国、東京都に学校給食費の無償化や補助を求めることについて。</p> <p>道路や歩道の薄れてきた白線を引き直すなどの市の対応について</p> <p>市民から「車道の自転車レーンがほとんど消えてしまい自転車で走る人には不便です。車のドライバーもラインがないと端に平気で寄ってきます。安心して走りません。薄れた白線を引き直すなど対応をお願いします」などの声が寄せられている。</p> <p>道路や歩道の薄れてきた白線の引き直しなど、市民から寄せられた要望に迅速に対応すべきと考えるが、市の基本的な対応は。</p>	

通告番号	会派名	氏名
11	無所属	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」被害防止対策の強化について</p> <p>全国で特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」がサクラ並木や果樹園などに大きな被害をもたらしており、都内でも被害が増加しています。被害の進行により木が枯れ、観光や農業に深刻な影響を及ぼすほか、倒木による二次被害も予測されます。被害防止に向けた取り組みと今後の対策強化について伺います。</p> <p>(1)クビアカツヤカミキリの法的な扱いについて</p> <p>(2)クビアカツヤカミキリの特徴と生態、人体への影響について</p> <p>(3)クビアカツヤカミキリによる街路・公園の樹木被害状況や梨・ブドウなど市内果樹園への影響について</p> <p>(4)クビアカツヤカミキリの被害確認から防除完了までについて</p> <p>①クビアカツヤカミキリの早期発見のための点検について</p> <p>②クビアカツヤカミキリの被害木や成虫の確認・判別の対応について</p> <p>③クビアカツヤカミキリの駆除・防除の具体的な方法について</p> <p>④クビアカツヤカミキリの駆除・防除後の経過処置とモニタリングについて</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(5)クビアカツヤカミキリ被害と防除に関する情報発信・普及啓発の強化について	
	<p data-bbox="310 461 1248 562">(6)クビアカツヤカミキリの早期発見や駆除・防除に関する市民や団体との連携協力について</p> <p data-bbox="310 584 1248 819">足利市では、今年6月、桜の名所となっている河川敷での「クビアカツヤカミキリ捕獲大会」や、昆虫食の団体による「クビアカツヤカミキリ調理・試食会」などが行われたとのことであり ります。</p> <p data-bbox="310 842 1248 1010">SDGs の視点から、市民の協力や団体等との公民連携などによるクビアカツヤカミキリの早期発見や駆除・防除の取り組みを進めることについて市の見解を伺います。</p>	
2	<p data-bbox="310 1144 1248 1256">駒沢女子大学・駒沢女子短期大学等「駒澤学園」の公民連携のさらなる促進・強化について</p> <p data-bbox="310 1279 1248 1379">令和5年3月、恵泉女学園大学・大学院(多摩市)の令和6年度以降の学生募集停止が公表されました。</p> <p data-bbox="310 1402 1248 1816">稲城市内唯一の高等教育機関である「駒沢女子大学・短期大学」。連携協定により様々な事業で稲城市の施策推進にご協力いただいております。駒沢女子大学・大学院、駒沢女子短期大学の知財をさらに地域で実践的に活かしていただけるようにすると共に、駒澤学園女子中・高校との連携・協力も強化し、地域の教育力の向上により持続発展する稲城市となることを期待し伺います。</p> <p data-bbox="310 1906 1248 2007">(1)稲城市と駒沢女子大学・駒沢女子短期大学等「駒澤学園」との公民連携に関する協定状況について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2)駒沢女子大学・駒沢女子短期大学等「駒澤学園」と稲 城市の公民連携・官学連携の状況と取り組みについて</p> <p>①市の政策の企画立案や施策の評価、広報・広聴や情報 政策に関する連携協力について</p> <p>②インターンシップ研修や庁舎管理など市業務に関する連 携協力について</p> <p>③国民健康保険、後期高齢者医療など、保険事業に関す る連携協力について</p> <p>④観光・商工農業等の産業やスポーツの振興、市民協 働・国際交流・男女平等参画に関する連携協力につい て</p> <p>⑤生活福祉・高齢者・障害者の福祉や保健衛生に関する 連携協力について</p> <p>⑥保育所・児童館・学童クラブなどの児童福祉や青少年 健全育成、幼児教育、母子保健、少子化対策など子育 て支援に関する連携協力について</p> <p>⑦まちづくりや土木・建築、交通安全など都市建設に関す る連携協力について</p> <p>⑧ごみ等の環境・衛生、資源リサイクル、緑化・公園、下水 など都市環境の整備に関する連携協力について</p> <p>⑨消防や防災に関する連携協力について</p>	

項目番号	質問要旨	摘要
	⑩生涯学習や文化・芸術、学校教育に関する連携協力について	
	⑪市立病院事業に関する連携協力について	
	(3) 稲城市と駒澤学園とのさらなる公民連携による地域創生について	
	地域課題の改善の一助として、大学等の知財を実践的にまちづくりに活かしていけるよう、市の様々な事業を学びのフィールドとして活用いただき、市政発展と市民の暮らしの向上につながる駒澤学園と稲城市のより一層の公民連携による地域創生について見解を伺います。	
3	稲城なしのすけナンバープレート(稲城市原動機付自転車標識)の希望番号制について	
	125ccを超えるバイクに希望ナンバー制を導入検討する方針を令和5年6月、国土交通省が公表しました。ナンバープレートの4桁以下のアラビア数字の番号について、ユーザーが自由に選べる希望ナンバー制は、登録自動車及び軽自動車(一部除く)において導入されています。	
	総排気量 125cc 以下の二輪車(原動機付自転車)等のナンバープレートについて、希望番号制の導入を検討することは稲城市の魅力向上と手数料収入の増加などが期待できると考えます。稲城なしのすけナンバープレート(稲城市原動機付自転車標識)の希望番号制導入について見解を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
12	稲志会	土居 のりひろ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>東京ジャイアンツタウン構想との連携について</p> <p>稲城南山東部土地区画整理事業の一番の目玉ともいえるジャイアンツタウン構想は、稲城市政始まって以来の大きな民間企業との共同事業とも言えます。稲城市と民間企業である、読売新聞東京本社、読売巨人軍、よみうりランドの3社が連携して、球場と水族館が一体化したスポーツとエンターテインメントが融合した施設となる事から、まちの賑わいを創出する絶好の機会であります。この構想が成功するには地域との連携は必須であり、円滑に運営していく上で、地域住民の理解と協力がなければなりません。</p> <p>①地域住民を中心とした、市民の声を吸い上げる取り組みなどがあるのか伺います。</p> <p>②ジャイアンツタウン構想の中に行政的拠点(出張所やコミュニティフロア)となる施設を導入する計画があるのか伺います。</p>	
2	<p>LGBT理解増進法について</p> <p>LGBT理解増進法が本年6月に成立しました。この法律は、性的指向及び性同一性の多様性、所謂性的マイノリティの方々に配慮する事を促す理念法であります。一方で「男性器があるが女性という認識を持つ人(=トランスジェンダー女性)に、女子トイレの利用を勧める効果を持ち、性犯罪目的の男までも『トランス女性のふり』で済むことから入りやすくなってしまう」恐れのある法律であるとも言えます。</p> <p>(1) ハード面に関する市の取り組みについて これから新設される公園や市内公共施設等、同法律に配慮した構造のトイレ等を整備する計画はあるのか伺います。</p> <p>(2) ソフト面に関する市の取り組みについて ①市内公立小中学校での取り組みについて伺います。 ②市民への啓発活動について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	人権教育指導について	
	<p>日本最大の人権侵害問題とは何か。それは、1970年頃から続く北朝鮮による拉致問題であります。政府による認定では17名が拉致被害者として認定されており、警察庁による北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者である特定失踪者は800名以上に上ります。平成14年(2002年)に拉致被害者の5名が帰国した際は日本国民全員が想いを寄せました。それから20年、今を生きる若者たちはほとんどその事実を知りません。親と子、兄弟、それら家族の絆が他国に引き離され、被害者家族は年々高齢化により亡くなったり、表に出る事すら困難な状況になっております。この拉致被害者を救出する為には日本国民がこの事実を忘れることなく、強く北朝鮮に被害者の帰国を訴えるべきであると考えます。</p>	
	<p>(1) 稲城市の公立小中学校での取り組みについて</p> <p>平成20年に内閣官房拉致問題対策本部が全国の公立小・中学校、高等学校、特別支援学校に「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ『めぐみ』」を配布しました。今を生きる子どもたちにとって拉致問題ははるか昔の生まれる前のできごとであり、今なお解決していない日本最大の人権侵害問題を知る機会がありません。そこで教育現場における、市内公立学校での北朝鮮による人権侵害問題についての指導実績について伺います。</p>	
	<p>(2) 稲城市としての取り組みについて</p> <p>我が日本国は、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、平成18年6月に、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、国及び地方公共団体の責務等が定められるとともに、毎年12月10日から同月16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすること、とされております。稲城市においても、市民であると同時に国民であります。市が確りとこれらの取り組みを推進し、市民1人1人が人権を尊重することについて理解を深め、その想いを寄せる事で、1日も早い拉致問題解決に向けた、働きかけができるようになることを切に願います。そこで本市における北朝鮮人権侵害問題啓発週間の取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>新型コロナワクチン接種後の対応について</p> <p>(1) 予防接種健康被害救済制度について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として広く核酸ワクチン(mRNAワクチン)の接種が浸透しました。稲城市としてもワクチン接種の推進にご尽力いただき、多くの市民が接種を受けられる体制を整えました。しかし国では予防接種健康被害救済制度の申請が8月1日の時点で8388件、その内3586件が認定されており、このうち死亡一時金や葬祭料など死亡例の認定は147件に上ります。その結果、過去45年間におきたその他全ての認定件数を超える事態になっており、今後予防接種健康被害救済制度の申請が増加することも予想されます。</p> <p>①健康被害救済制度への申請件数について伺います。</p> <p>②予防接種健康被害救済制度の市民への情報提供について伺います。</p>	
	<p>(2) 予防接種の記録に関する市の対応について</p> <p>都道府県知事または市町村長は、予防接種を行ったときは、予防接種に関する記録を作成し、予防接種をおこなった時から5年間保存しなければならない事とされております。(予防接種法施行規則第三条)現在の定期接種のワクチンは、数十年という長年のデータ蓄積の上に、安全性と有効性が確認され、任意接種から定期接種となったものばかりです。</p> <p>日本薬剤疫学会、日本疫学会、日本臨床疫学会、日本ワクチン学会の四学会においても新型コロナワクチン接種の実施前に、被接種者追跡システムの構築や接種記録の共有などを可能とすることなどを求める共同声明が発出されています。様々なデータを管理する時代に、新型コロナワクチン接種の記録を自身で確認できなくなることは、市民の不安に繋がるかもしれません。関東では東京都小平市と千葉県我孫子市が国が法令で定める保存期間(5年)を独自に延長し、小平市は30年、我孫子市は10年に延長しました。現に救済制度に申請し、認定までに年単位でかかる状況などを鑑みて質問いたします。</p> <p>①稲城市における新型コロナワクチン接種に関する予診票や予防接種台帳の記録の保存年数を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	改革未来の会	岩佐ゆきひろ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>熱中症について</p> <p>総務省消防庁は8月8日、熱中症により7月31日～8月6日の1週間に、全国で1万810人が救急搬送されたとの公表しており、2週連続で1万人を超えています。</p> <p>市の熱中症対策についてうかがいます。</p> <p>(1) 令和5年度、8月末までの市内、熱中症の疑いによる救急搬送件数について</p> <p>(2) 熱中症にかからないための市の対策について</p>	
2	<p>市民プールの運営状況について</p> <p>市民が気軽に、そして小さな子供たちも一緒に利用でき、子供から大人まで一緒に楽しめる市民プールがありますが、自治体が運営するプールは1996年から約4割減の約3,900か所となっています。そこで以下の点についてうかがいます。</p> <p>(1) 令和4年度の開場日数、利用人数について</p> <p>(2) 運営状況について</p> <p>(3) 今後の利用者増の取り組みについて</p>	

3	<p>小中学校の LED 照明について</p>	
	<p>令和 5 年度から令和 7 年度にかけて市内小中学校（第三小学校以外）の照明を LED に変更しているところであると思います。その中で、ニュータウンの学校については令和 6 年度以降に実施する予定であると聞きました。今後の計画等について確認させていただきます。</p> <p>（1）現在の小中学校の LED 化の計画について （2）令和 6 年度以降に LED 化する小中学校を決定した経緯について （3）今後のスケジュールと周知について</p>	
4	<p>合同清掃について</p>	
	<p>令和 5 年 6 月 25 日、環境美化市民運動が実施をされ多くの地域の方にご参加をいただきました。</p> <p>参加人数等についてうかがいます。</p> <p>（1）参加人数、参加団体数について （2）集めたごみの総量について （3）今回の合同清掃実施後の各団体からの意見や要望について</p>	

通告番号	会派名	氏名
14	公明党	湯谷 ひろし

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>医療的ケア児(者)の更なる状況把握と災害時等に備えるためのマニュアル作成について</p> <p>公明党が強力に押し進めてきた医療的ケア児支援法が、2021年9月に施行され、医療的ケア児の環境整備が急速に進んでおります。稲城市においても、来年4月に「稲城市重症心身障害児(者)等通所施設」が開設されることになり、医療的ケア児(者)とその家族に対して、更に寄り添った支援ができるものと期待しております。</p> <p>公明党は「誰一人取り残さない社会」の実現に全力を挙げております。そのために重要なことは、置き去りにされやすい障がい児や医療的ケア児(者)等に光を当てた施策の強化です。政府の「こども未来戦略方針」にも、公明党が主張した数多くの支援策が盛り込まれました。</p> <p>現在、国をあげて推進している医療的ケア児(者)への支援体制強化ですが、支援する人材の確保・育成、災害時における医療的ケア児(者)の安全確保等、一步踏み込んだ施策が必要であると考えます。そのために更なる医療的ケア児(者)の状況把握と災害時等に備えるためのマニュアル作成が必要であるとの考えから質問を致します。</p> <p>(1)医療的ケア児(者)の更なる状況把握について</p> <p>①市内の医療的ケア児(者)の症例について</p> <p>②医療的ケア児(者)のための協議会設置について</p> <p>③医療的ケア児等コーディネーターの配置について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	④医療的ケア児(者)の更なる状況把握について	
	(2)在宅で医療的ケアを必要とする方用のマニュアル作成について	
	①停電時における電源確保(現時点)について	
	②災害時等に備えて平時に準備しておく物について	
2	市内体育施設の予約におけるトラブル解消を目指して	
	<p>稲城市は「市民ひとり1スポーツ」を目標に、全ての市民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しめる機会の充実を図っております。その中で市内体育施設は、市民の健康増進、交流の場として重要な役割を担っており、誰もがその円滑な運営を望んでおります。</p>	
	<p>しかし、ある体育施設利用者から以下の内容のお話を伺いました。それは、ある登録団体が、施設の予約を延長し続けた末に、使用せず、直前にキャンセルしたというものです。しかも、この行為を長期にわたり繰り返したとのこと。その枠の利用を希望していた他の団体にとっては、貴重な機会を失うこととなりました。また、市にとっても、誰も利用しない空きの枠ができたことで、損失を被った結果となりました。</p>	
	<p>現行の予約のルールやシステムに改善点がないかという観点から質問を致します。</p>	
	(1)現行のルールについて	
	①本件のようなケースがあることに対する市の認識について	
	②本件による他の利用者や市への影響について	
	③本件に関わる公共施設予約システムで体育施設を利用するための	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	無所属	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>地域 BWA を利用した Wi-Fi の運用について</p> <p>株式会社多摩テレビと稲城市との地域広帯域移動無線アクセスシステムの整備及び公共サービスに関する協定を締結したことを契機に、基盤整備が行われ、当初は避難所への設置にとどまっていたが、地域 BWA システムは、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイドの解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした無線システムとなっています。地域 BWA を最大限活用すべきという立場から質問をします。</p> <p>(1) 令和5年6月1日から公民館および城山体験学習館などの公共施設の Wi-Fi 機器貸し出しがはじまったと認識していますが、Wi-Fi 機器の配置および利用状況について伺います。</p> <p>① 現在、貸出用の Wi-Fi 機器はどの施設に何台ずつ配置しているのか伺います。</p> <p>② 6月の貸し出し開始から8月いっぱいまでの各施設の利用状況を伺います。</p> <p>③ 利用者からどんな声があるのか伺います。</p> <p>(2) 公共施設 Wi-Fi 機器貸し出しの周知について伺います。</p> <p>① 現状の周知方法を伺います。</p> <p>② これからの取り組みについて伺います。</p> <p>(3) その他防災も含め地域 BWA は様々な活用が出来るものと考えますが、今後の展望があれば伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>電車とホームの隙間が広く開いている京王相模原線稲城駅の安全性について</p>	
	<p>京王稲城駅のホームと車両の隙間が大きく空いていて、安全性を欠いているとの市民からの声が寄せられています。 市は市民の安全・安心を守る立場にあると認識しています。 一日も早く、市民をはじめ多くの駅利用者に対し、対応を求める立場から質問をします。</p>	
	<p>(1) 稲城駅のホームと車両の間の隙間について</p> <p>①市で把握している京王相模原線稲城駅での事故は何件あるのか伺います。 ②京王電鉄で稲城駅において、現状講じている転落防止策を改めて伺います。 ③市民からのご意見やご要望はあるのか伺う。</p>	
	<p>(2) 京王電鉄は2023年度の鉄道事業設備投資についての取り組みの一つとして、より高度な安全・安心の追及についてプレスリリースをしていますが、その内容について伺います。</p> <p>①電車とホームの隙間対策について市が把握している内容を伺います。 ②転落防止ゴムなどが整備をされている駅があれば伺います。 ③特に稲城駅の隙間対策は市民からの声に耳を傾け、京王電鉄に現状を伝えて少しでも優先順位を上げてもらう働きかけをすべきだと思いますが、市の考えを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>マイナンバーカードの強制をやめて、マイナンバー制度を見直すことについて</p> <p>(1) マイナンバーカードの現状について ①現在の市民へのマイナンバーカードの発行枚数を聞きます。 ②各健康保険組合の保険証と紐づけられたマイナンバーカードの枚数について聞きます。</p> <p>(2) マイナンバー情報総点検について ①国の「総点検」の内容について聞きます。 ②稲城市の「総点検」の進捗状況と結果について聞きます。</p> <p>(3) 健康保険証の廃止について ①現在の国民健康保険の被保険者数について聞きます。 ②保険証廃止後の対応について聞きます。 ③トラブルと混乱を引き起こす保険証の廃止について、中止撤回を求めるべきと考えますが認識を聞きます。</p>	
2	<p>地球温暖化対策としての建物の断熱性能向上について</p> <p>(1) 建物の断熱性能向上の意義について ①新たな省エネ建物基準として注目されている「ZEH」および「ZEH水準」の内容について聞きます。 ②エネルギー効率の向上や省エネを進めるために、建物の断熱性能向上が大きな役割を果たすと考えるが認識を聞きます。</p> <p>(2) 公共施設における建物の断熱性能向上について ①市内の市役所や公民館、図書館などの建物の断熱性能について聞きます。 ②市内の小中学校の建物の断熱性能について聞きます。 ③公共施設の建物の断熱性能の向上について今後の取り組みを聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
<p>(3)</p> <p>3</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>住宅における建物の断熱性能向上について</p> <p>①個人住宅で建物の断熱性能向上のための補助事業の概要をききます。</p> <p>②カーボンニュートラル実現のために、積極的に住宅の建物の断熱性能向上を進めるべきと考えますが認識を聞きます。</p> <p>学校のトイレへの生理用品設置について</p> <p>市内の小中学校の授業等で子どもたちが生理について学ぶ時期やその内容について聞きます。</p> <p>小中学校の教職員が性をめぐる課題や生理の貧困等について学ぶ機会やその内容について聞きます。</p> <p>多摩地域の周辺自治体でも学校のトイレへの生理用品の設置が進んでいます。そういった周辺自治体の取り組みも参考にして、稲城市としても子どもたちが生理用品に困ることがないように更なる施策を行うべきと考えますが認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革未来の会	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>誰もが暮らしやすいまち 障がい児(者)支援について</p> <p>本市では、現在、重症心身障害児(者)等通所施設や発達支援センター分室の開設準備が進められており、今後、さらなる障害福祉の増進が期待されます。その一方で、市民の方より、障害福祉サービス等についてご意見をいただくことも多く、様々な課題があると感じています。そこで、障がい児(者)支援について、以下伺います。</p> <p>(1) 医療的ケア児等の支援協議会の設置について</p> <p>① 医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図る取組みについて伺う。</p> <p>② 医療的ケア児等支援協議会等の設置について、本市の検討状況について伺う。</p> <p>(2) 重症心身障害児(者)及び医療的ケア児在宅レスパイト等事業について</p> <p>① 本事業の概要について伺う。</p> <p>② 本事業の導入について、本市の検討状況について伺う。</p> <p>(3) 障がい児(者)へのおむつ支給等のサービスについて</p> <p>① 本サービスの内容について伺う。</p> <p>② 本サービスの内容の見直しについて伺う。</p> <p>(4) 日常生活用具の耐用年数の掲載について</p> <p>① 本市では、日常生活用具の耐用年数がしおりに記載されていないため、都度問い合わせが必要といったお声があるが、掲載しない理由について伺う。</p> <p>② 利用者側の視点に立ち、日常生活用具の耐用年数を障害福祉のしおりに掲載すべきではないかと考えるが、認識を伺う。</p> <p>(5) 担当窓口などに寄せられる相談や要望等から市民ニーズを的確に捉え、政策に反映させる取組みについて伺う。</p> <p>(6) 2024年4月から、「改正障害者差別解消法」の施行に伴い、民間事業者においても『合理的配慮の提供』が義務化となる。内閣府では、障害者差別解消法に関して、「困りごとがあれば、まずは地域の身近な相談窓口に相談してください」と広報しているが、本市での相談体制について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>育児休業中の保育短時間制度について</p> <p>2015年度に始まった「子ども・子育て支援新制度」以降、保育時間の2区分化が始まり、保護者のうち就労時間の短い側が概ね1ヶ月120時間に満たない就労をしている場合、1日最大8時間利用可能とする「保育短時間」制度が導入されました。</p> <p>本市では、育児休業の場合、保育短時間が適用され、保育標準時間を選択することができません。育児休業中の保護者の負担を軽減するために、保育標準時間と保育短時間を選択制にすべきと考え、以下について伺います。</p> <p>(1) 2022年度末時点で、保育標準時間が適用されている児童数と、保育短時間が適用されている児童数、そのうち育児休業を認定している児童数を伺う。</p> <p>(2) 育児休業中でも、保育標準時間と保育短時間を利用者の選択制としている自治体もあるが、東京都26市の実施状況について伺う。</p> <p>(3) 本市では、育児休業の場合、保育短時間制度の対象としているが、導入時、どのような検討がされたのか伺う。</p> <p>(4) 保育短時間が適用されることにより、保育の支給量は一日最大11時間から8時間と約27%減の支給となるが、保護者が市に支払う保育料は2%前後減るだけである。この制度設計の正当性・公平性について、市の認識を伺う。</p> <p>(5) 育児休業の保育環境の改善について、本市においても、保育標準時間と保育短時間の選択制を検討すべきではないかと考えるが、市の認識を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>子どもの健康・安全を優先とする小中学校の水泳指導について</p> <p>全国の学校現場のなかには、水泳指導中の『日焼け止めクリームの禁止』や『ラッシュガードの着用禁止もしくは許可制』、生理であっても、『生理は病気ではないから参加しなさい』『プールに入れないならグラウンドを走りなさい』など、子どもの健康・安全が守られていない指導がおこなわれている状況がみられます。そこで、本市の小中学校の水泳指導について伺います。</p> <p>(1) ラッシュガードの着用について、申請を必要とする学校がみられる。申請を必要としない学校が多いなか、保護者に理由を書いて申請させることは、合理性がないと考えるが、市の認識を伺う。</p> <p>(2) 日焼け止めクリームの使用について、市の認識を伺う。</p> <p>(3) ジェンダーレス水着の着用について、市の認識を伺う。</p> <p>(4) 生理中のプール指導について、生理が理由での欠席や見学時の対応、学習評価への影響について伺う。</p> <p>(5) 令和3年第3回定例会において、学校におけるライフジャケットの着用の取組みについて一般質問し、「今後、他市の取組等を参考に研究する」との答弁であったが、研究状況について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>道路上にはみ出した樹木の枝等の適切な管理について</p> <p>市内でも、道路沿いの私有地にある樹木から枝が伸びて、道路上にはみ出し、通学路にも関わらず歩道が塞がれているなど、危険な場所がみられます。市から所有者に対し行政指導をおこなっても、改善されないケースもあり、万が一、伸びた樹木の木により事故が発生した場合、市道であれば、道路管理者である市にも損害賠償責任が求められる場合もあるとされています。</p> <p>そこで、今年の4月の民法改正を踏まえ、以下について伺ってまいります。</p> <p>(1) 現状について</p> <p>①過去5年間の道路上にはみ出した樹木の枝等に関する市民からの問い合わせ件数と市の対応件数について伺う。</p> <p>②住宅敷地などから公道に樹木の枝が越境しているなど、歩行者や車両が通行する上で危険が生じる場合、市はどのような対応をおこなっているのか伺う。</p> <p>(2) 2023年4月1日施行、民法改正について</p> <p>①2023年4月1日から施行された民法改正に伴う、越境竹木に関するルールの改正内容について伺う。</p> <p>②越境竹木に関するルールの改正について、市民への周知について伺う。</p> <p>③住宅敷地などから公道に木の枝が越境しているなど、歩行者や車両が通行する上で危険が生じ、市が所有者に適切な管理を促しても応じない場合、民法改正後の市の対応について伺う。</p>	

通告番号	会派名	氏名
18	稲志会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災に関する稲城市の取り組みについて</p> <p>防災に関連する一般質問も今回で50回連続となった。12年間という月日はそこまで短くもないので、この間にいくつか状況変化もあったかと思い確認するが、</p> <p>(1) 木造住宅密集地域について</p> <p>過去には押立地区及び平尾2丁目地区が耐震改修促進モデル地区として指定され、当該2地区のほか古い建物が多いう地区として矢野口、東長沼、大丸など、市内の各地域に点在していることが指摘されていた。</p> <p>①この間に同2地区をはじめとした市内の木密地域について状況の変化はあるのか伺う。</p> <p>②近年における木造住宅耐震診断・改修助成金申請の応募状況について伺う。</p> <p>③住宅耐震化緊急促進アクションプログラムの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 沿道築造物の倒壊、狭小並びに急傾斜等の要因を抱える道路の改善について</p> <p>都道等の大規模道路において緊急輸送道路沿道の耐震化を進め、建物の倒壊による道路閉塞を防止することが重要とされているが、市道においても消防自動車や救急車が入り込めない狭小或いは急傾斜な箇所が散見されており、この改善も必須であると考えます。</p> <p>①ちょうど5年前に国内で発生したブロック塀倒壊事故を受け、市内で倒壊の恐れがあるブロック塀について調査し1,219か所が確認されていたかと思うが、その後の数的改善状況はどうなっているか伺う。</p> <p>②同問題を解決する一手段でもある平成2年度に創設された生垣造成の補助制度であるが、近年の申請状況を伺う。</p> <p>③2000本以上ある稲城市道と認定外道路であるが、その中で緊急車両等が進入通過できない路線等はないのか、把握状況について伺う。</p> <p>④緊急車両(特に救急車)が進入できない場合の救出救助はどのようにされているか伺う。</p>	

市における見積りと入札、発注について

ロシアのウクライナ侵攻をはじめとした国際情勢の悪化により、ガソリンをはじめ円安の煽りを受けた物価高騰やそもそもの物資不足が起き、さらには法改正による2024年問題での各種作業員不足や人件費増嵩と国内での課題も重なり、各種の入札が厳しい状況が散見されている。

(1) 見積りについて

稲城市契約事務規則を始めとした規則規程等に則って積算されていると思うが、上述の通り見積りと市場価格に乖離があると入札が不調になりかねない懸念がある。

①市における積算に関する基準はどのように運用されているのか伺う。

②工事・修繕の請負、業務委託で50万円未満、物品購入で80万円未満に対する小規模契約見積参加登録制度であるが市内業者の登録数を伺う。

③本年4月より見積書の押印省略が実施されているが、より迅速かつ簡易に見積りの提出が行えるよう電子対応等が求められるが、市の各部署における対応状況について伺う。

(2) 入札と発注について

稲城市競争入札参加者心得の定めに従って粛々と入札が行われていると思うが、公平適正かつ損のない税金の使途を目論むことは当然として、市内業者の受注の機会を拡大し、地域経済の活性化を図ることも重要であると考えます。

①大規模工事においては建設業における共同企業体（JV）方式が採用されることも多い。市内業者側が下請けのような形になってしまったり、前述の2024年問題も背景として社員等の人材をスカウトされてしまうという懸念もあるが、改めて大規模工事における発注方式、業者選定の方法について伺う。

②市内業者においても、単発ではなく数年以上の長期的なスパンで各種受注を取れることが経営の安定にもつながるわけだが、先々までを見据えた今後発注可能性のある案件をある程度予定立てて公表していくことは出来ないのか伺う。

平尾地区の抱える諸課題（交通、防犯、商業）について

市内最南端の平尾においては、上平尾地域の整備が完了して丁目地番も全てが整理されて、残す大課題は団地建て替えであるがこちらは暫く様子見となっている。しかしその他、諸課題もあるために現状と今後の見通しについて確認するが、

（１）交通状況の改善について

事故や開発を受けて信号機の新設や道路状況の改善は見られるが、

①上平尾消防出張所前交差点の右折信号設置に向けた状況について伺う。

②右折レーンが出来て少し改善されたソコラ若葉台角交差点であるが、トンネル側から右折する車両が1回に1～2台程度と厳しい状況である。ここについては右折信号増設ではなく時差式にする方法も考えられるが、市としての対応を伺う。

（２）防犯体制について

市南端であり坂浜に接する北側以外、東西南の3方を神奈川県に囲まれているため管轄外へと抜ける犯罪者の行き来が昔から心配されている。

①平尾交番の常駐化に向けた取り組みの進捗はどのようになっているか伺う。

②上平尾消防出張所横の都有地に新交番（出来れば待望の大型交番）の設置も地域住民から望まれているが、要望状況について伺う。

（３）スーパーヤマザキ撤退後の平尾中央地域の買い物難民について

昨年に50年の歴史に幕を下ろした平尾団地商店街の旗艦店であったスーパーヤマザキの撤退後、多くの方々の尽力により移動販売車誘致などで辛うじて命脈を保たれているが、

①その後、同地跡へのテナント誘致状況はどのように把握されているか伺う。

②暫くの間、新規商店誘致が困難な場合には高齢者の皆様もバス等で買い出しに出る必要がある。平尾は北向き斜面が多く面積を占めており美望会ははじめ、昨今では外周通りや平尾小通り沿いへの休憩用ベンチ設置が望まれているが、市の認識を伺う。